

今回は1年次 FRH 活動 の報告です。

◇ ポスター講座を受講しました。

日時：令和4年12月6日（火）15：35～16：25

場所：本校教室（オンライン配信）

対象：1年次生

テーマ：「DESIGN Thinking 驚くほど結果が変わる、伝え方のデザイン思考」

今回の講演は、今後のポスター作成に向けたポスター講座でした。講師は関高校の探究活動の発表会やさくら塾でご指導・ご講演いただいております、本校の卒業生である宇佐見 将太氏（一般社団法人オンラインプレゼンテーション協会理事長）です。講座はオンライン中継で各教室へ配信しました。今回の講座の



テーマは「DESIGN Thinking 驚くほど結果が変わる、伝え方のデザイン思考」です。ポスター作成に向けて、ポスターをどのようにデザインすればより伝わりやすくなるのかということをお話いただきました。講演内でお話いただく項目がそのままポスターの項目になっており、講演が終わると、1枚のポスターが完成するという形で話していただけたため、生徒もポスターの構成の仕方、見せ方をよく理解できたようです。

講座はまず、「なぜ『伝え方』が大切なのか」という話から始まりました。現代社会では、学校の授業でも、大学入試でも、社会に出てからも、「思考力・判断力・表現力」が必要とされており、「察して」は通用しない社会になっているため、こうしたなかで自分の思いを相手に伝えられる人になるためには、伝える力を身につける必要がある、というお話でした。「伝える力」というのは、練習すれば上達するものだということで、生徒のみなさんには、高校生活だけでなく卒業後以降も生かせる力として身につけていって欲しいと思います。

ポスター作成にあたってはポスターをデザインする力も求められます。読みやすく、相手に伝わるポスターデザインは、多くの生徒が悩むところです。しかしデザインというのは、好きなブランドのロゴやカタログからも学べるものであり、身近に教材がたくさんあるということも教えていただきました。



1年生は今年度が初めてのポスター作成となるため、まだまだ思ったようなポスターを完成させることはできないかもしれません。今回の講演内容を、今年度と来年度のポスター作成に生かして欲しいと思います。

◇ ポスター講座を受けて 生徒の感想

・今回ポスター講座を聞いて新しく分かったことや色々なアドバイスを聞いてすごく良かったです。例えばポスターの動機は共感をもらえる内容にすると良いということです。これが講座を聞いていて一番納得というか確かにと共感できました。また、文字を揃えて書くことやフォントや色を、目をひくものに変えたりすることでもっと良いものができるということが分かったので参考にして私もポスター作りたと思いました。さらに、色々コツが分かったので前よりも楽しくポスター作りを進めることができそうで次のポスター作りが楽しみになりました。講座を聞いて良かったです！！

・今回のプレゼンテーションは、ポスター講座のこと以外にも現代の問題も考えさせられるものでした。流れがとても綺麗で、私もこんなふうに話せたらいいなと思うような熱量、ただ台本を覚えただけではなく、相手に伝わるように準備されているのだろうなと感じました。話の中で出来上がったポスターも統一感があり明るくて見やすいなと感じました。今まで意識したことのないようなこともあったので、ポスター講座を受けてよかったと感じています。

・人が受ける情報は8割が視覚からによることやコロナ禍によるオンライン授業などで、特にこの時代において視覚情報が大切なことを知りました。ポスターは私が思っていた以上に奥が深く、同じような言葉でも敢えてマイナス表現を使ったり何かと比較したりすることによって人を惹き付けられるような言葉を作ることや、文字のフォントや濃さ、色の違いなどによって相手に伝えやすく分かりやすくしている工夫を知ることが出来て楽しかったです。また、なかなか自分から調べようとしたり、そのような機会がないので貴重ないい経験になりました。ありがとうございました。

・ポスターを作るときに見えない線を意識して資料や文をまとめていくというのを聞いて「ああ、なるほど」と思いました。今までポスターのようなものを書くことはありましたが、見えない線を意識と考えたことも気づいたこともなく今回この講座を受けて良い知識が得られ、そして良い経験となりました。これを参考に、この講座を思い出し、読み手に伝わりやすいポスターを作っていこうと思いました。

・ポスターの作成で内容設定の理由を書くときにもポイントがあることを学びました。また、文字の大きさや色を変えるだけで相手への伝わり方が変わることを学びました。今までポスターを作成するときの良いポスターを作成するポイントを意識せずにやっていたけど、よいポスターを作成するためには細かなポイントも意識して作成しなければいけないと感じました。また、これからポスター作成をするときに、文字の大きさや色を意識して変えたりして、相手に何が言いたいかが伝わるような良いポスターが作成できるようにしたいと思いました。

・字の色や字体、配列の仕方によって感じ方が全く違うことが分かりました。いちばん伝えたいことと、そうでは無いところを見やすくするために、字の大きさや色を考えてポスターを作成したいと思いました。視覚からの情報が8割以上を占めることがわかったので、図を多く取り入れたいと思いました。

・ポスター講座、相手に上手に伝えるための伝え方講座を受けて、人にものを伝えられるポスターを作るためには色の使い方とか文字の大きさ、フォントを工夫して、パッと見て目を惹くような形にすることが必要だと分かった。自分が受けている美術の授業でもデザインというものを勉強しているが、人間が心地よく思える配色だったり、様々なフォントが与える印象や影響などの部分の話は講座で聞いた話とも一致する部分が多かった。物事の上手い伝え方というのは100%センスという訳ではなくて、伝え方、印象づけ方の1つ1つにもきちんと確立されたセオリーがあって、それにのっとれば誰だって伝わりやすいポスターを作ることができるとうよく分かった。

・ポスター講座を受けてフォントや色、配置を少しでも工夫することで伝わり方も変わるということを学びました。でも、色を使いすぎたり、工夫しすぎたりしてもダメで、適度に工夫することで効果的になるということもわかりました。私は、このことについて、日常生活でノートをとる時にも意識できるものだなと思って、色を何色までとか、見やすくわかりやすいようなことを意識して作ることで、頭に入ってきやすくなったり、見たいと思えるものが作れたりするのだと思いました。また、フォントや色などだけでなく、伝えたいことに合ったグラフなど、根拠となるものを用いることでも見る人の理解力をあげられるのでいいなと思いました。数字は誰でも理解で来ると言ったように誰でもわかる数字を使って伝えたいと思いました。

・文章の例を見て、文字の大きさや色を使って相手に読んで欲しい部分を強調する大切さをまなびました。日常生活でも、ダラダラと文章や会話を続けてしまい要点が相手に伝わらないことがあったので心がけようと思いました。また、キャチコピーを考える部分も印象に残りました。ありふれた言葉でしか考えたことがなかったので、他と差別化できるような言葉を選んで相手に良い印象を与えて記憶に残るような工夫をしたいです

・ポスターを作る時に工夫することや、相手に伝わりやすいポスターを作るためにどうすべきかをたくさん知れて良かったです。見やすいポスターにするために、人の気持ちを動かされるようなポスターを作りたいと思いました。また、性別や年代に合わせて色を見やすい色に変えたりフォントを変えたりしていきたいと思いました。これから自分でポスターを作らないといけないので、今回の講話から学んだことを活かして作っていきたいです。貴重なお話をありがとうございました。